

# ブルガリア新聞

2019年7月29日～8月7日  
プロヴディフ市 難波友美子

## プロヴディフとは

プロヴディフはトラキア平原に位置するブルガリア第二の都市。六千年の歴史があり、「世界で最古の都市のひとつでバルカン半島で最も古く、最も美しい都市」と言われている。

首都...ソフィア  
面積...約11万1000キロ平方メートル  
人口...約708万人  
言語...ブルガリア語

## ブルガリアでの行程

一日目...ソフィア観光でバスに乗っているところを回ったアレクサンドルネフスキー寺院やセルティカの遺跡などに行った。ホストファミリーのチャさんと対面した



二日目...プロヴディフ市の市長さんに会い、出し物を行った。

ホストファミリーとプロヴディフの古代劇場やローマの円形劇場などに行った。アレクサンドルネフスキー寺院  
午後一緒に行った仲間とそのホストファミリーと一緒にボウリングに行った。

三日目...運河を散策した後、ユースセンターで運動をした。一緒に行った仲間やそのホストファミリーとも一緒に運動できて楽しかった。午後は水を使ったショーを見た。とても綺麗だった。



公共温泉浴場

四日目...チャさん達がやっている言語学校に行った。午後はチャさんと民族衣装を着て写真を撮った。とてもかわいい民族衣装が着れた。夜は民族祭を鑑賞した。

五日目...プラネタリウムを見に行った。午後はみんなでチャさんの実家に行って、トロヤン焼きの絵付けをした。うまくかけて良かった～！夜は野外ステージコンサートを見た。

六日目...バラの石鹸作りをした。夜は山の一番上まで登るとプロヴディフの街を見渡せた。最終日なので手紙を渡すととても喜んでもらえてうれしかった。



聖ゲオルギ聖堂

七日目...朝、ホストファミリーとお別れをした。とても寂しいけど、とても充実した六日間だったと思う。まだ回りきれなかったソフィアの観光をして、ソフィア市内のホテルに泊まった。プールに入ったり、トランプで遊んだりして、とても楽しかった。

## ブルガリアでの料理

ブルガリアのレストランでは、トマトときゅうりを切った上にチーズがのっている料理→パン→ケバプ  
チェヤキョフテ(肉料理)→デザート(の順)で出てきた。  
量が多くて食べきれなかったけど、美味しかった。



←キョフテ

ヨーグルト→



## ブルガリアの特産品

### 1▶バラ製品

ブルガリアにはバラ製品がたくさんあった。ブルガリアでは毎年5月～六月にバラ祭りがおこなわれていて、華やかな民族衣装を纏った女性がバラを収穫し、祝う。



### 2▶トロヤン焼き

トロヤン焼きは紀元前までの歴史があり、ブルガリアの伝統的な陶器である。トロヤンという名前はブルガリア北西部のトロヤンという地名からきている。赤い粘土で作られ、極彩色の絵柄が特徴的。



## ブルガリアの民族衣装

ブルガリアには主に七つの地域があり、それぞれに伝統的な衣装がある。普段一般の人が民族衣装を着ることは無いが、イベントや行事、結婚式や合唱団などに入っている人のコスチュームとして着用される。



民族衣装を着た私とチャさん ↗

## 派遣事業の感想

私はブルガリアに行くことに決まるまで、ブルガリアがどこにあるのかさえあまり知らないし、英語も得意ではありませんでした。

行く前も英語は通じるかな？一人で大丈夫かな？と不安ばかりでした。ですが、実際行ってみると英語は簡単な単語を並べるだけでも伝わり、とても楽しめることができました。ホストファミリーはとてもやさしくて、いろいろなところに連れて行って、ブルガリアの文化や伝統まで知ることができました。

また、一緒に行った仲間ともとても仲良くなれ、とても充実した10日間でした。私はこのブルガリアへの派遣にいて本当に良かったです。